

日本特殊陶業株式会社 第122期中間 株主通信

2021年4月1日から2021年9月30日まで

IGNITE YOUR SPIRIT

新中期経営計画をスタート 「変えるために、壊す。変わるために、創る。」

株主の皆さまには、平素よりご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当期の概況

2022年3月期第2四半期は、売上収益2,345億円、営業利益339億円となり、前年同期比で増収増益、売上収益としては過去最高となりました。自動車メーカーの半導体不足による減産影響を受けて新車組付用製品は厳しい状況であるものの、新型コロナウイルス感染症の影響から回復し、補修用製品、半導体製造装置用部品が好調に推移したことに加えて、為替が円安に推移したことから売上収益は増加しました。また営業利益については、補修用製品比率の増加や為替円安の影響に加えて費用の抑制もあり、増益となりました。

新中期経営計画

このたび、新たな中期経営計画をスタートさせました。この新中期経営計画は、2020年に策定した「2030 長期経営計画 日特BX」で描いた「ありたい姿」を具体的に実現していくための計画です。「Change with Will !!」をスローガンに、必要なものは残し、変えるべきものがあれば変え、新たな価値を創るという



代表取締役会長

尾堂 真一



代表取締役社長
社長執行役員

川合 尊

ことを徹底していきます。

事業戦略としては、事業ポートフォリオ転換の達成に向けて、既存事業でキャッシュ創出を最大化し、成長・新規事業へ積極的に経営資源の最適配分を図ります。また、サステナブルな社会に向けて、当社グループのすべての事業から排出される温室効果ガスを2050年までに実質ゼロとし、脱炭素社会の実現を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

Segment Overview セグメント別業績の概要

自動車関連

売上収益 **1,853** 億円

営業利益 **364** 億円

車載向け半導体の供給不足、原材料価格の高騰に加え東南アジアにおける工場稼働制限が当社販売及び利益に影響を与えているものの、欧州及び北米を中心とした補修用製品の販売が好調に推移したことで業績をカバーしました。

この結果、前年同期と比べ当第2四半期の売上収益は25.6%アップの1,852億85百万円、営業利益は67.6%アップの363億73百万円となりました。

セラミック

売上収益 **450** 億円

営業利益 **35** 億円

自動車関連向け機械工具の出荷は回復基調であり、半導体製造装置用部品については世界的な半導体需要の増加に伴い、市場環境等の拡大基調を受けて当社販売も堅調に推移しました。

この結果、前年同期と比べ当第2四半期の売上収益は16.7%アップの450億41百万円、営業利益は34億75百万円(前年同期は4億98百万円の営業損失)となりました。

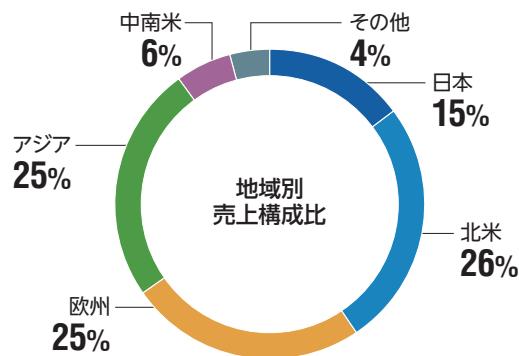
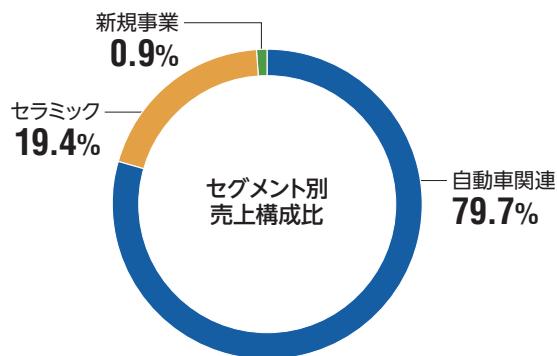
新規事業

売上収益 **22** 億円

営業損失 **61** 億円

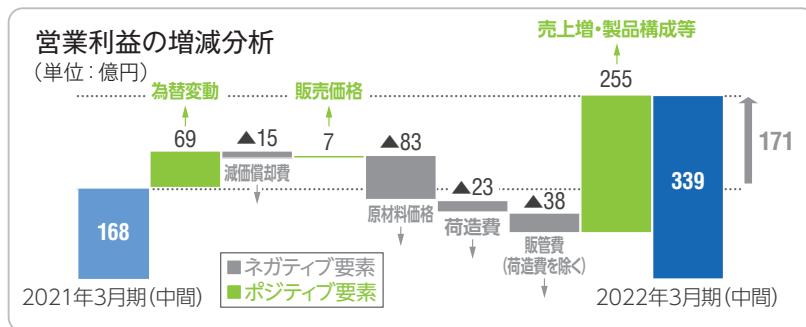
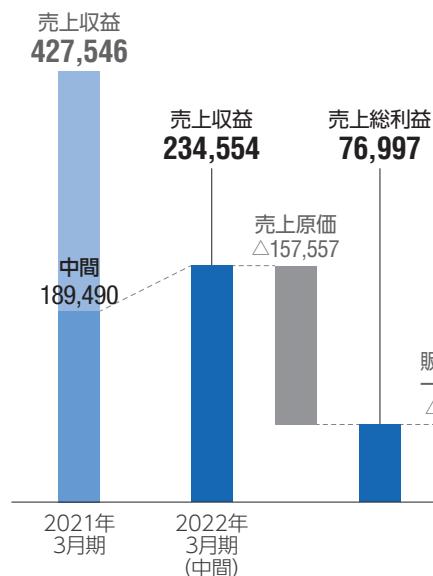
新規事業については、当第2四半期の売上収益は16.6%アップの21億92百万円、営業損失は60億74百万円(前年同期は45億19百万円の営業損失)となりました。

※他に、「その他」の区分として、売上収益31億31百万円、営業利益1億46百万円があります。※記載金額はすべて連結ベースで表示しております。



Financial Data 財務状況

連結業績ハイライト (単位: 百万円)



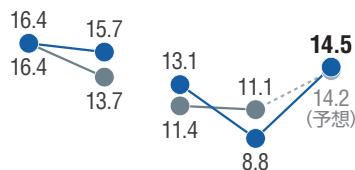
※上記グラフは非支配持分(△415百万円)の表示を省略しております。

通期予想 2022年3月期 (単位: 百万円)

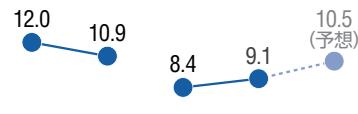
売上収益	482,000
営業利益	68,500
税引前利益	67,500
親会社の所有者に帰属する当期利益	48,800

営業利益率 (単位: %)

●中間 ●期末



ROE (単位: %)



2018年3月期 2019年3月期 2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期

← 日本基準 → ← IFRS基準 →

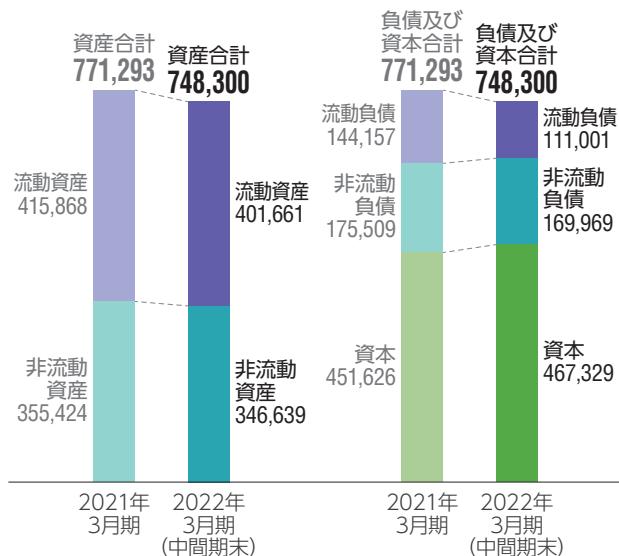
2018年3月期 2019年3月期 2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期

← 日本基準 → ← IFRS基準 →

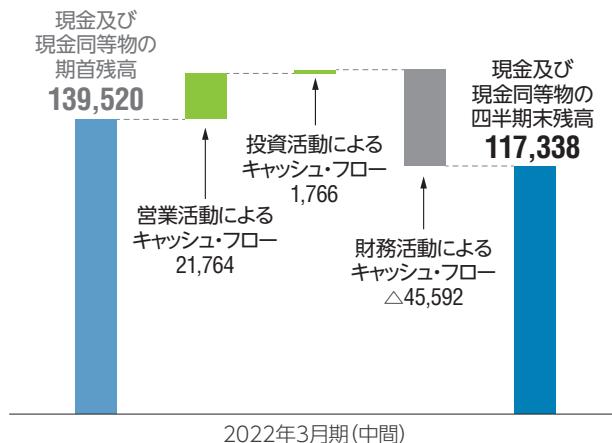
※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

詳細は当社WEBサイトの投資家情報ページでもご覧いただけます。▶ <https://www.ngkntk.co.jp/ir/index.html>

連結財政状態計算書 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フローの概要 (単位: 百万円)



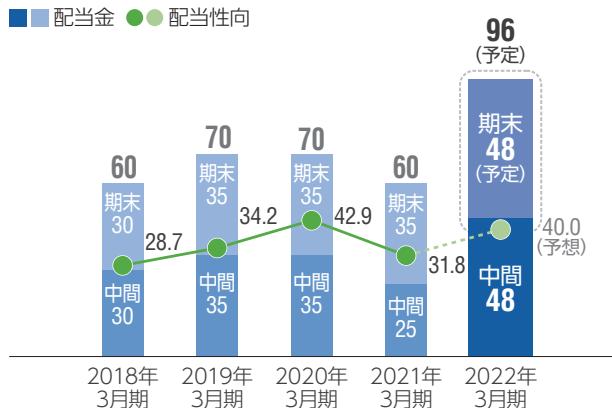
※連結キャッシュ・フローの概要は現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額(△119百万円)の表示を省略しております。

1株当たり純利益

基本的1株当たり当期利益 (単位: 円)



配当金 (単位: 円)・配当性向 (単位: %)



クラス最高水準の容量・サイズの酸化物系固体電池を開発

当社は、非焼結型の酸化物系固体二次電池を開発し、酸化物系固体電池（以下、固体電池）でクラス最高水準の容量・サイズを実現しました。本固体電池は、不燃性で有毒ガス発生への心配もなく、過酷な環境下や広い温度範囲での使用が可能で、これにより宇宙空間や自動車用バックアップ電源、海洋機器、運輸用IoT、防爆が要求される機器などでの活用が期待されています。宇宙空間での活用については、株式会社ispaceが進める民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」にコーポレートパートナーとして参画し、2022年に月面で世界初^{*}となる固体電池の実証実験を行う計画です。



※2021年9月時点の想定

コネクテッド予防整備サービス「ドクターリンク」運用開始

コネクテッド予防整備サービス「ドクターリンク」は、コネクテッド技術を活用してカーユーザーと自動車整備工場をつなぎ、最適な整備を提供するサービスです。「ドクターリンク」を利用することにより、カーユーザーは愛車の情報をスマホアプリで確認することができ、また自動車整備工場はカーユーザーに対して最適かつ納得感の高い整備点検提案が可能となります。これにより、カーユーザーは安心して愛車に乗り続けられる環境や愛車の価値向上などのメリットを享受することができます。

当社は「ドクターリンク」をはじめとして、自動車整備とカーユーザーをつなぐサービスを提供し、将来のモビリティ社会を下支えするメンテナンスインフラの構築を今後も進めていきます。





脱炭素社会の実現に向けて、 カーボンニュートラルを目指すことを宣言

CO₂排出量を削減し、気候変動の緩和に努めることは地球規模での重要な課題です。そのため、当社にとっても事業を通じて排出するCO₂を削減することは重要な果たすべき責任です。そこで当社グループは、脱炭素社会の実現に向けて取り組みを進めるべく、すべての事業から排出される温室効果ガスを2050年までに実質ゼロとする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。具体的な取り組みとしては、社内で排出されるCO₂に仮定の価格をつける「社内カーボンプライシング」の導入や、従業員の業績連動型株式報酬の評価指標の一つにCO₂排出量の削減率を加えるなど、さまざまな施策を実施してカーボンニュートラルを目指していきます。



ESG投資の世界的指数 「FTSE4Good Index Series」、 「FTSE Blossom Japan Index」 の構成銘柄に連続選定

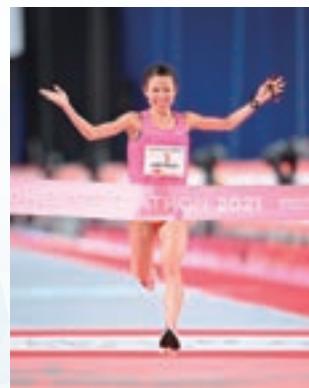
当社は、世界の代表的なESG投資指数である「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に19年連続で選定されました。また、「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄にも5年連続で選定されました。なお、世界最大の公的年金の管理・運用組織である年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用する4つのESG投資指数*にも継続して選定されています。



*「FTSE Blossom Japan Index」、「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」、「MSCI 日本株女性活躍指数(WIN)」、および「S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数」

マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2022に ゴールドスポンサーとして協賛

2022年3月11日（金）～13日（日）の3日間、名古屋市内で開催される「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2022」に前回大会に続きゴールドスポンサーとして協賛いたします。「すべての夢を追う人を応援したい」という想いのもと、今大会も頑張る方々をサポートします。



※名古屋ウィメンズマラソン2021で優勝した松田瑞生選手（ダイハツ）のゴールシーン（提供：名古屋ウィメンズマラソン）

Stock Information 株式データ (2021年9月30日現在)

資本金	478億69百万円
発行可能な株式の総数	390,000,000株
発行済み株式の総数	204,175,320株
株主数	38,252名
大株主	

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	24,319	11.92
明治安田生命保険相互会社	16,794	8.23
第一生命保険株式会社	16,752	8.21
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	9,289	4.55
全国共済農業協同組合連合会	7,404	3.63
株式会社三菱UFJ銀行	4,380	2.14
日本生命保険相互会社	3,563	1.74
TOTO株式会社	3,433	1.68
株式会社日本カストディ銀行(信託口7)	3,357	1.64
野村信託銀行株式会社(投信口)	2,997	1.47

持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



株式に関するマイナンバーお届出のご案内

株式の税務関係の手続きには、マイナンバーの届出が必要です。まだお届出をされていない株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

中間配当金
受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人

特別口座の
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京・名古屋(第1部)

電子公告により行います。
公告掲載URL https://www.ngkntk.co.jp/ir/public_notice/
(ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および中日新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行へお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にお問い合わせください。

「統合報告書2021」を発行しました。
詳しい内容はこちらからご覧いただけます。
https://www.ngkntk.co.jp/resource/pdf/ir_integration_report_05.pdf



事業内容や財務情報の
詳細は当社WEBサイトを
ご参照ください。
<https://www.ngkntk.co.jp>

NGK NTK
スパークプラグ ニューセラミック
日本特殊陶業



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

